



# 2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

2022年11月7日

住友ベークライト株式会社  
代表取締役社長 藤原 一彦

---

# 2023年3月期（2022年度） 第2四半期 決算概要

# 2023年3月期 第2四半期 連結業績 (前年同期比)

(金額単位：億円)

	2022年3月期 第2四半期 実績①	2023年3月期 第2四半期 実績②	前年同期比較	
			金額 (②-①)	増減率
売上収益	1,283	1,435	152	11.8%
事業利益	137	127	-10	-7.4%
営業利益	135	125	-10	-7.7%
当期利益	103	92	-10	-10.2%

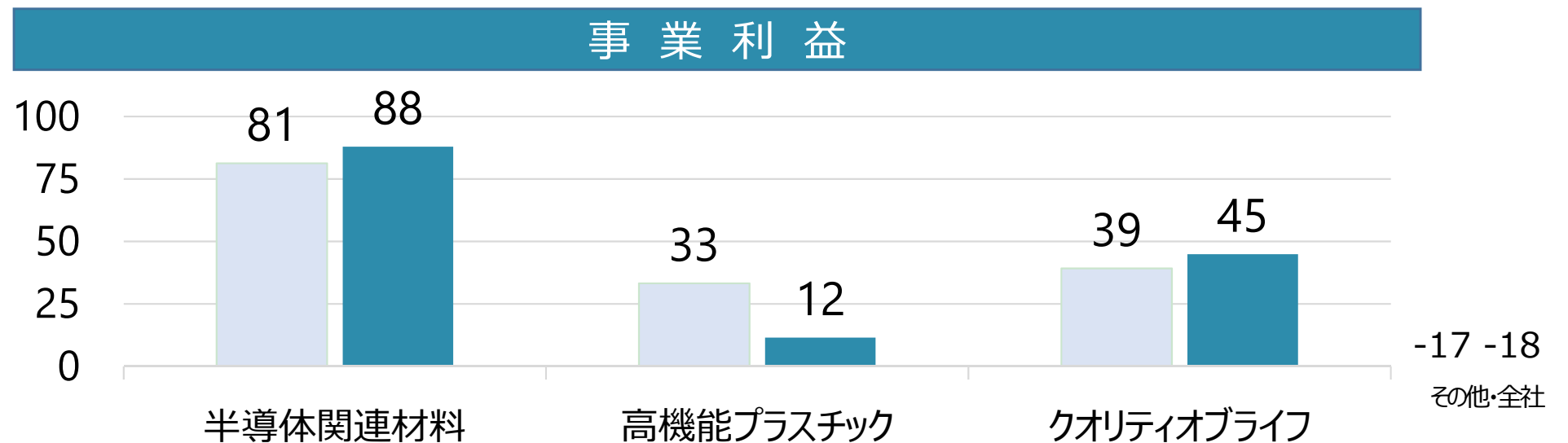
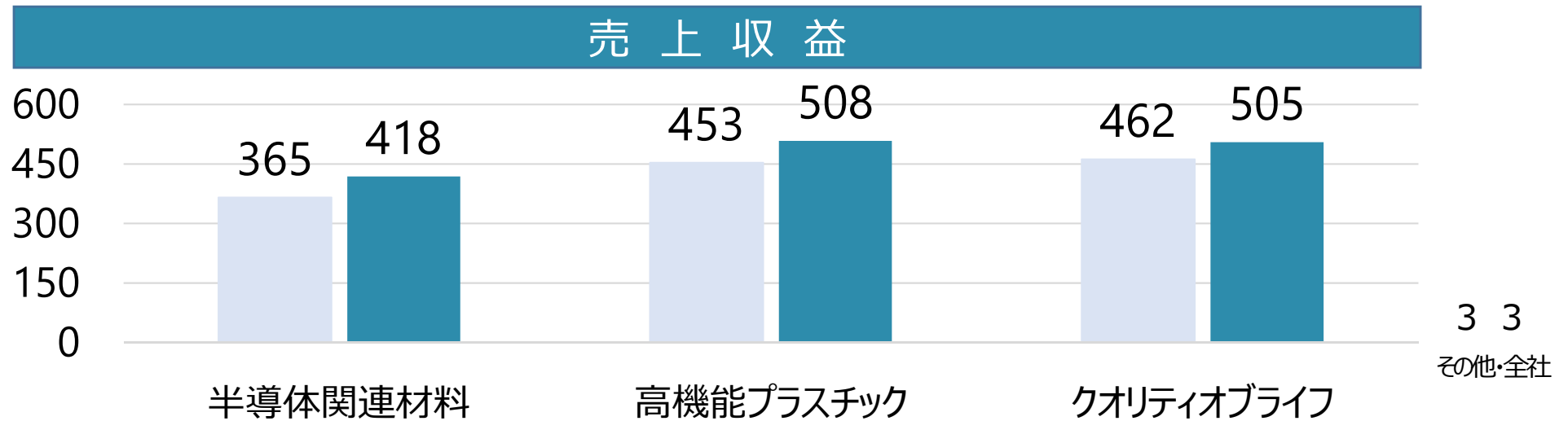
※「事業利益」は「売上収益」から「売上原価」、「販管費及び一般管理費」を控除したベース

「当期利益」は親会社所有者に帰属する四半期利益

為替レート	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期
USD (\$/¥)	110.18	133.46
EUR (€/¥)	130.97	138.79

# 事業セグメント別業績比較 (前年同期比)

(金額単位：億円)

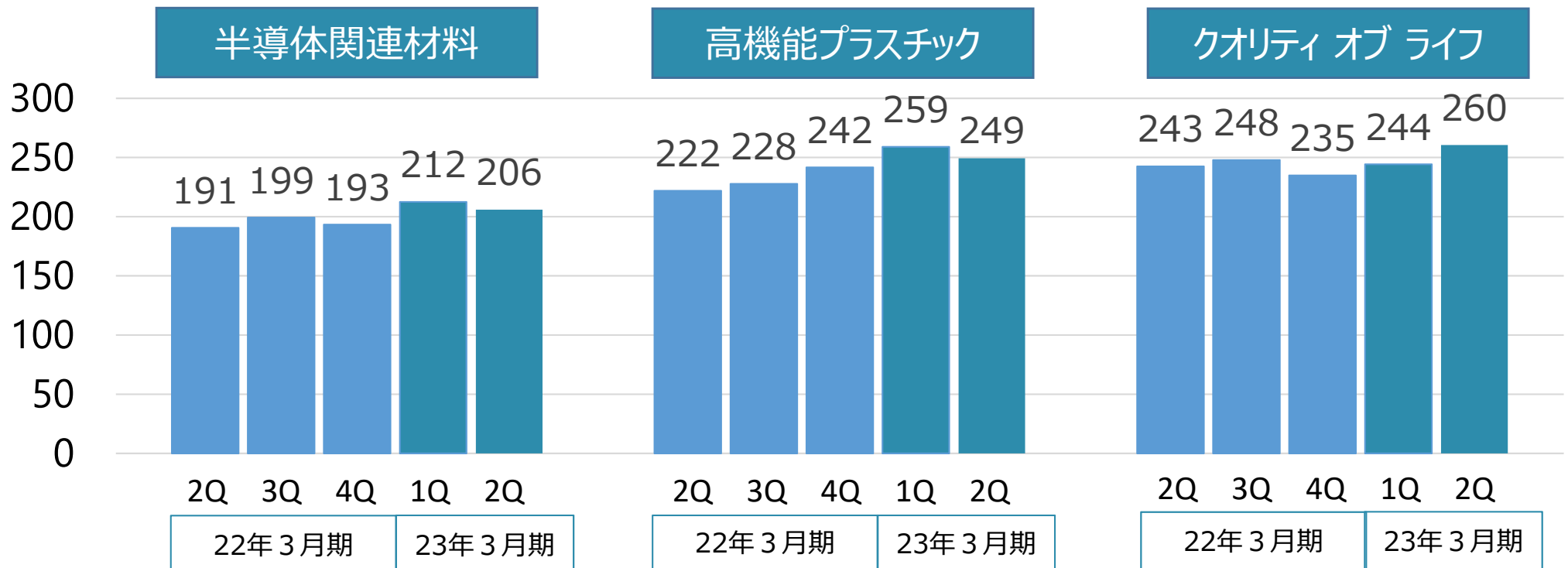


■ 2022年3月期 第2四半期

■ 2023年3月期 第2四半期

# 事業セグメント別 四半期販売推移

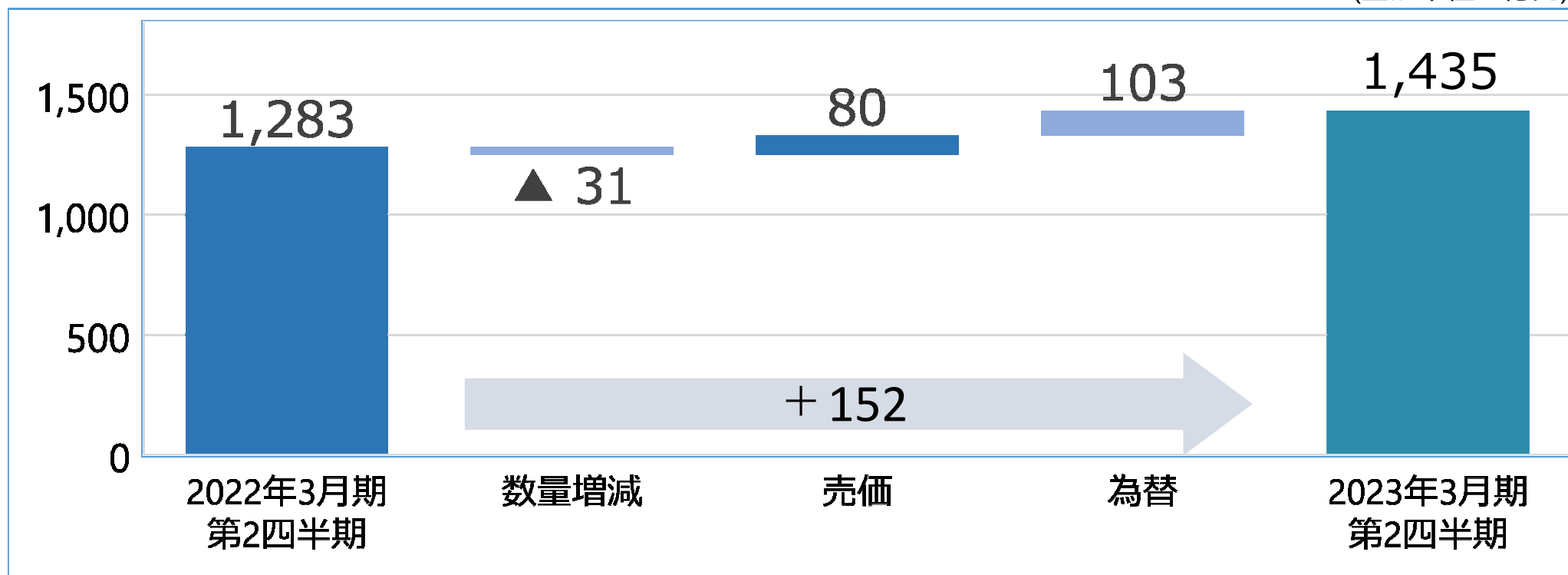
(金額単位：億円)



- 半導体関連材料：車載IC用途は堅調だが、民生用途の在庫調整影響が強くなっている。
- 高機能プラスチック：自動車減産に加え、中国ロックダウン、民生需要の落ち込み等により販売数量が減少している。
- クオリティオブライフ：好調なヘルスケア関連製品の採血キットの北米輸出やフィルムシートの医薬品包装用途の販売に加え、原料価格上昇の売価転嫁も進展した。

# 売上収益増減要因（前年同期比）

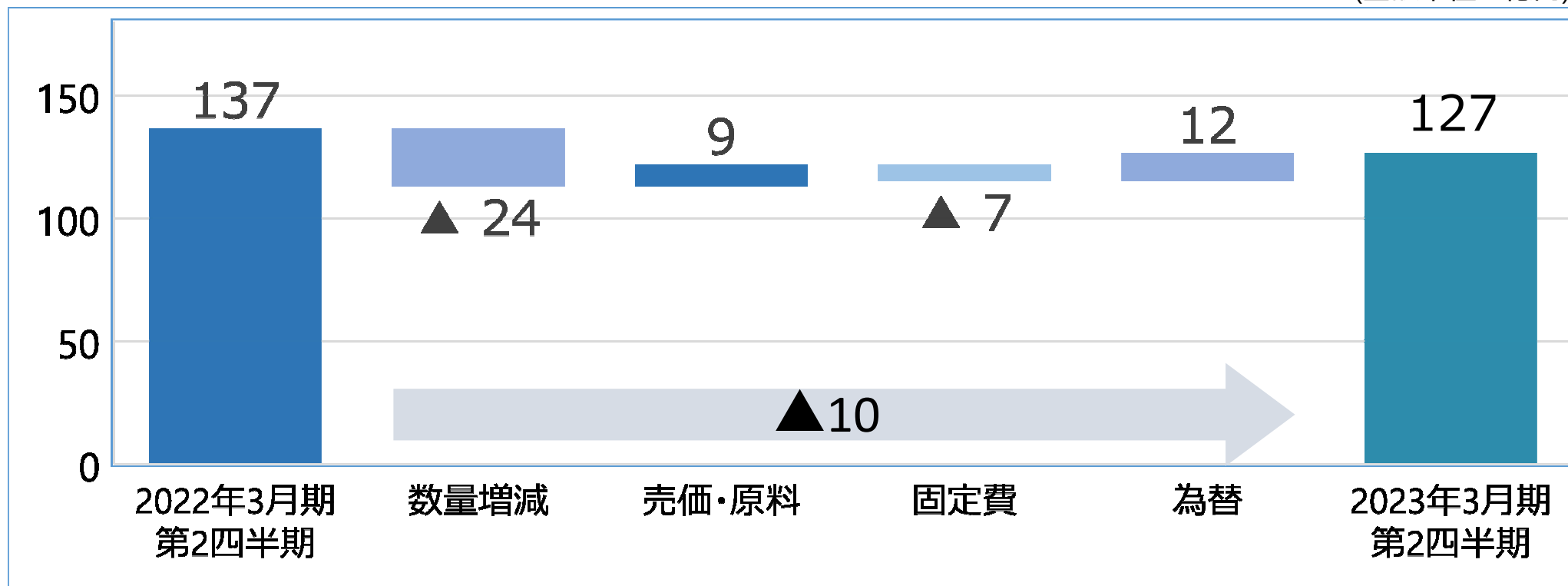
（金額単位：億円）



セグメント別	数量増減	売価	為替	合計
半導体関連材料	▲ 2	13	42	53
高機能プラスチック	▲ 48	54	49	55
クオリティオブライフ	18	13	11	43

# 事業利益増減要因（前年同期比）

（金額単位：億円）



セグメント別	数量増減	売価・原料	固定費	為替	合計
半導体関連材料	1	3	▲7	9	7
高機能プラスチック	▲28	7	▲2	0	▲22
クオリティオブライフ	2	▲1	3	2	6
その他	1	0	▲1	0	▲1

---

# 2023年3月期（2022年度） 通期 業績予想



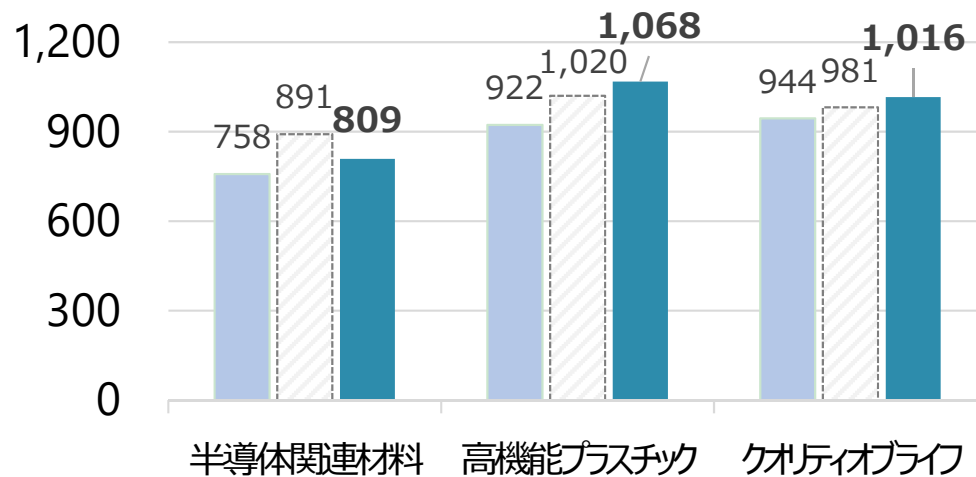
# 2023年3月期 通期 連結業績予想

全社の業績予想値に変更はないが、セグメント別の数値を見直し (金額単位：億円)

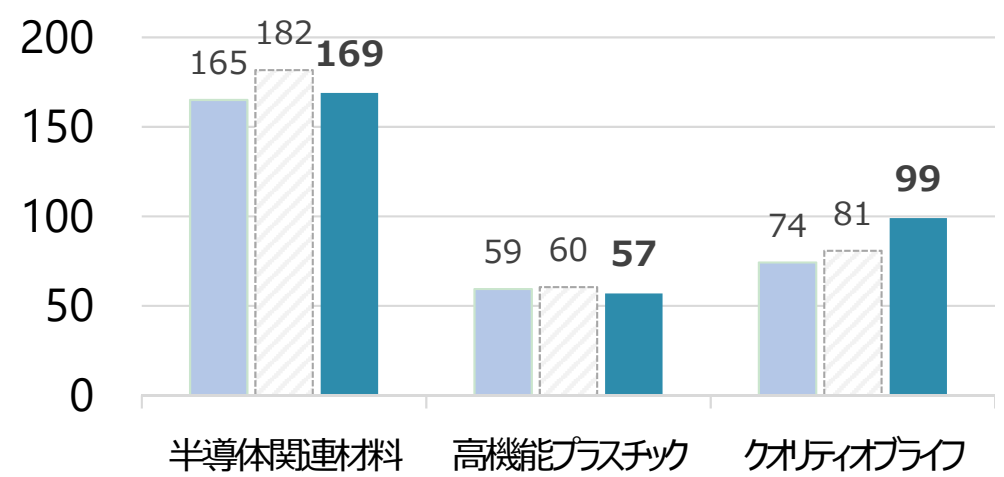
	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比較	
	実績①	予想②	金額 (②-①)	増減率
売上収益	2,631	<b>2,900</b>	269	10.2%
事業利益	265	<b>285</b>	20	7.6%
当期利益	183	<b>210</b>	27	14.8%

※「事業利益」は「売上収益」から「売上原価」、「販管費及び一般管理費」を控除したベース。「当期利益」は親会社所有者に帰属する当期利益

## セグメント別売上収益



## セグメント別事業利益

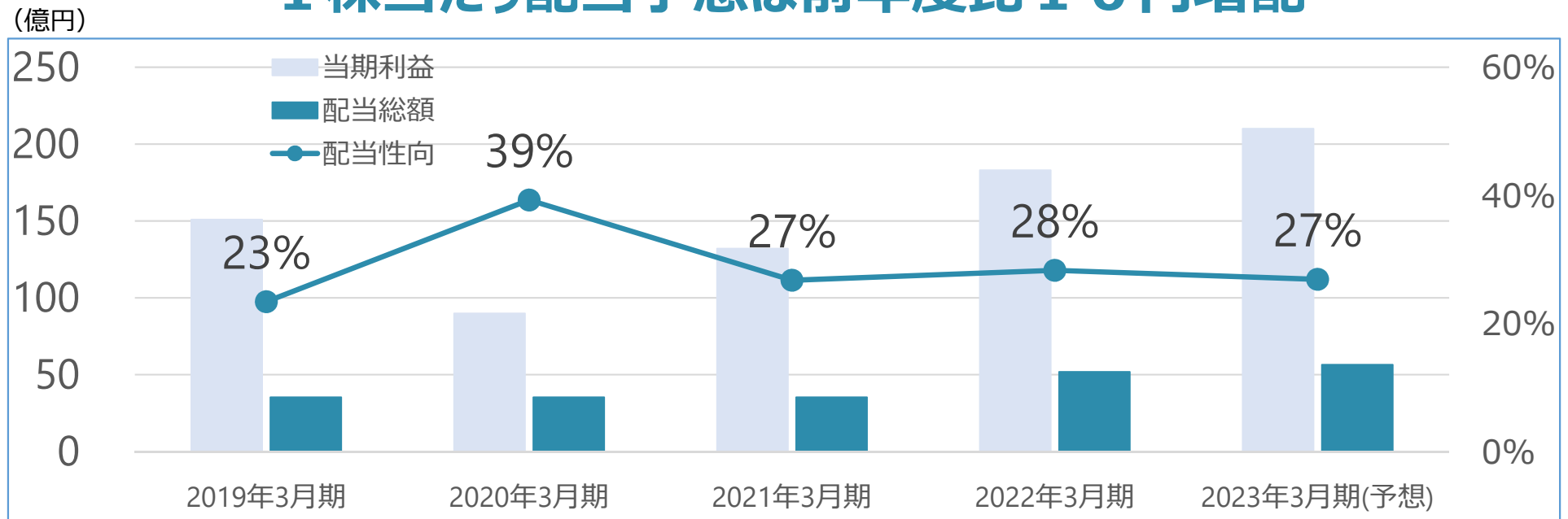


■ 2022年3月期実績    ▨ 2023年3月期当初予想    ■ 2023年3月期最新予想

# 配当

■ 配当予想 (2023年3月期) : 120円/株 (中間60円・期末60円)

**1株当たり配当予想は前年度比10円増配**



【配当金(円)/株】

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 (予想)
中間配当	37.50	37.50	45.00	50.00	<b>60.00</b>
期末配当	37.50	37.50	30.00	60.00	<b>60.00</b>
年間配当	75.00	75.00	75.00	110.00	<b>120.00</b>

---

# 中期経営計画のレビュー

# 本中期における主要施策

Vision

## 「未来に夢を提供する会社」

中期基本方針

### 機能性化学分野で「ニッチ&トップシェア」の実現

#### 新しいビジネスモデルへの挑戦

#### 組織カルチャーの進化

経営  
基盤

組織横断



研究開発  
マーケティング機能  
ものづくり基盤



挑戦する文化の醸成  
人事制度見直し  
働き方改革

重点  
施策

- ①成長領域への積極投資
- ②環境分野への布石
- ③低迷事業のテコ入れ
- ④BCP対応

数値  
目標

売上収益:3,000億円・事業利益:300億円・ROE:10%  
(2022年5月に目標値を見直し)

DX  
推進

#### SDGsへの貢献 (カーボンニュートラル)

# 中期経営計画の進捗

## SDGs貢献製品 売上比率目標

貢献製品の長期目標を達成すべく毎月の委員会にて活動を推進

2020年度 (実績)

37%

2021年度 (実績)

48%

2023年度

50%以上

2030年度

70%以上

## 環境対応の取り組み

- カーボンニュートラルへの挑戦：国内の工場・研究所をグリーン電力に切り替え。2030年の国内目標を前倒し達成。さらに**2035年までの全社環境開発ロードマップ**を策定
- 2021年2月のTCFDに賛同を踏まえ、**WGでシナリオ分析を実施。**

## DXの推進

### ビジネスモデルへの展開 DX人材育成、DX風土の醸成

- ◆ 研究開発：MI推進PJがデータ駆動型開発を推進し、研究開発能力を向上
- ◆ モノづくり：オートパイロット制御をWW展開し、生産性を向上
- ◆ 業務全般：業務変革WGにより、人生産性・付加価値業務比率を向上

# 重点施策の進捗

## 汎用から先端材まで、顧客への生販研サポート体制で拡販

### 【今期の取り組み】

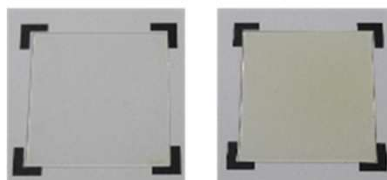
- 車載用途（ADAS、xEV化）を中心に封止材市場でシェア拡大
- 急拡大する太陽光発電・パワー半導体用途（特に中国市場）の対応
- 高速大容量通信分野（メモリー、SiP、WLP、アンテナモジュール等）で、  
高熱伝導MUF（モールドアンダーフィル）材、顆粒材を拡販
  - ・九州住友ベークライト内に顆粒材の新ライン導入（サンプルワーク開始）

### 【中長期の取り組み】

#### ■ 次世代感光材の顧客開拓

- ・LEDチップ周辺の微細加工に対応する  
機能性感光材(高透明・高耐光)

◆ LED 光曝露試験 500 時間後の外観  
CRX-4000 シリーズ 従来品



(サンプル：10μm 厚みの硬化膜をガラス上に形成)  
機能性感光材（写真左）

#### ■ 将来を見据え、「地産地消」の生産能力増強

- ・中国：新工場を建設し、能力1.3倍増（2024年初頭稼働予定）  
モビリティ、車載、汎用IC、自動車、電力用途でシェア拡大を狙う



蘇州新工場（完成予想図）

## 拡大する電動車市場へ 樹脂化のソリューション提案

### ■モビリティ戦略3 製品のWW販売拡大、成長市場で競争力UP

#### ・モーター磁石固定用、ECU一括封止材の「地産地消」強化

欧州：モーター磁石固定用⇒年内量産開始、ECU一括封止材⇒年内認定サンプル出荷  
 北米：設備導入し、年内認定サンプル出荷

#### ・パワーモジュール封止材

EV/HEV向けモールドタイプへの切替促進、Si/SiCパワーモジュール採用に向けた材料開発

### ■次世代モビリティ用途開発の推進

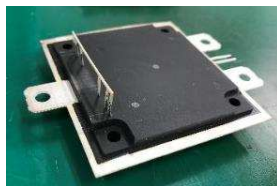
・ステーター用（モーター冷却効率改善、コイル部分放電抑制）顧客評価を拡大



モーター磁石固定用



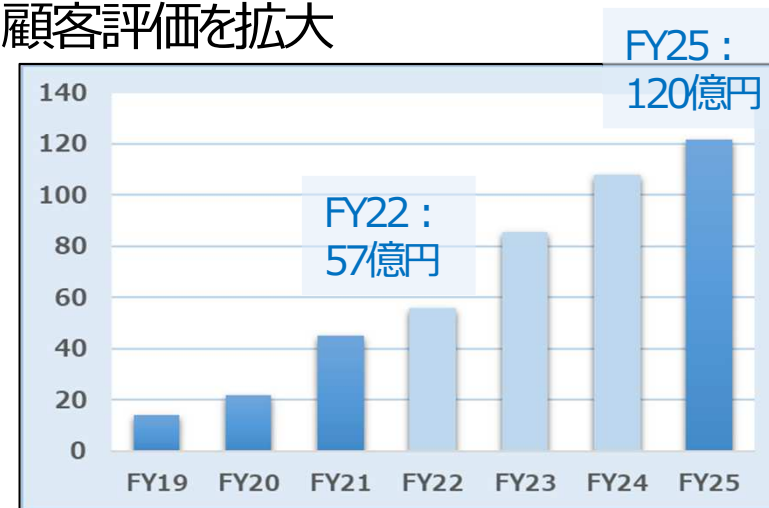
ECU一括封止材



パワーモジュール用封止材



ステーター用封止材



モビリティ戦略3 製品販売計画



## 既存製品のシェア拡大、次世代成長分野の開発推進

### ■ 案件ごと顧客サポート実施による既存製品のシェア拡大

- ・成形材料：自動車用機構部品（ブレーキ用キャリパー・ピストン、プーリー、コンミテーターなど）
- ・工業樹脂：接着剤、摩擦材、断熱材など



コンミテーター

### ■ 次世代成長分野（電動車、環境）に向けて新たな価値を創造

#### ・電動車

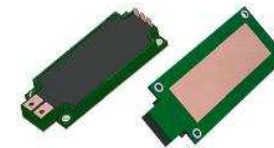
高寸法精度材「SiON®」、めっき複合化技術「PM-Plamecシリーズ」  
 長繊維成形材料、駆動用モーターコイルエンド絶縁材  
 パワーモジュール用絶縁放熱シート（12w級）  
 パワーモジュール用注型材



SiON®

#### ・環境

植物由来(バイオマス)樹脂、低VOC材



パワーモジュール用  
注型材



低VOC材



PM-Plamec

### ■ 停滞市場への対応

- ・航空機内装部品：市況回復の兆し、欧州OEMへの取組み強化、固定費削減継続  
⇒損益大幅改善へ

## 樹脂技術で、熱マネジメント、小型・軽量化、低振動・低騒音を提案

**半導体関連材料**

**高性能プラスチック**

**メッキ複合化技術 (PM-Plamec)**

**パワーモジュール**

**封止材**

**注型材、絶縁放熱シート**

**インバータ**

**駆動モーター**

**ステーター封止材**

**大型樹脂筐体**

**インバータ**

**メッキ複合化技術 (PM-Plamec)**

**コイルエンド封止**

**モーター磁石固定**

**ECU一括封止材**

**樹脂化e-Axleを作製**

- ・樹脂化効果の検証を開始
- ・モーター出力特性
- ・振動・騒音、など

## 社会のニーズを深掘りし、新たな価値の創造へ

### ■ 環境対応フィルムの開発 (フィルム)

- ・バイオマスPTP医薬品包装シートを上市、
- ・モノマテリアルフィルムを欧州市場向けに開発



バイオマスPTP医薬品包装

### ■ 機能性フィルムで事業領域を拡大 (フィルム)

- ・産業用フィルム：半導体・電子部品用カバーテープ  
中国市場で現地サポートを充実、開発スピードアップ
- ・食品包装用フィルム：食肉用スキンパック  
食肉包装用途で新たな価値を創造し、市場開発



スキンパック包装

「おいしさ向上」「食品ロス削減」

- ・パッケージ・イノベーション・センター (PIC) による技術サポート
- ・カーボンフットプリント包括算定システムの第3者認証を取得



P I C

### ■ ビジネスモデルの変革 (産機・防水)

- ・光学製品：HUDグローバル展開促進
- ・エレクトロクロミック技術：アイウェア市場で新たな価値を提案
- ・ノンハロ品で唯一のUL、耐トラッキング性CTI:0を取得した  
薄肉化可能な難燃ポリカーボネートフィルム\*で高電圧機器用途開拓  
(\*当社調べ)
- ・高気密・高断熱・軽量「スミルーフDN」で屋根材市場を開拓



難燃ポリカーボネートフィルム



## シナジーの最大化により、ヘルスケア分野の競争力向上

### ■ PMIの進展により、医療機器事業でFY25・売上収益400億円を目指す

#### 【研究】

- ・注力分野を殿町メディカル研究所に集約し、顧客との関係向上
- ・積極的な企業連携による価値向上
- ・血管内治療デバイスの適用範囲拡大
- ・消化管ステントのフルラインナップへ

#### 【営業】

- ・組織再編により営業効率向上  
北米・アジア・アセアン：採血キット、血液バッグ拡販  
日本：国内病院、法人向け製品の品ぞろえ拡充



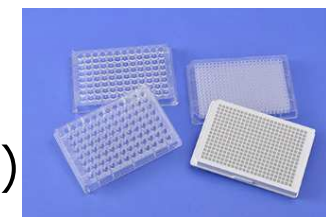
**S Bカワスミ新本社・  
殿町メディカル研究所**  
羽田空港に近接 利便性良く、  
ドクター来訪による開発  
スピード向上



血液バッグ

### ■ OneBio : バイオ事業の拡大

- ・再生医療、抗体医薬分野でコア技術を生かした  
製品開発・グローバル展開 (PrimeSurface、SuperQuality)
- ・自社製造診断薬 (肺炎用) の拡販



PrimeSurface®



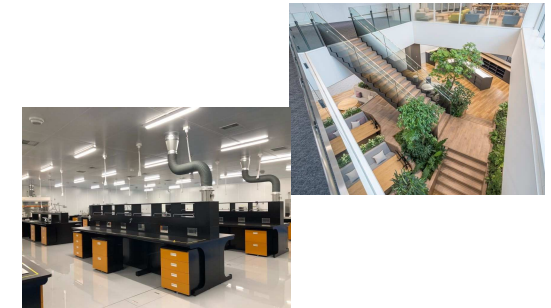
診断薬製品

## (S Bカワスミ) P M I の取り組み状況

### ■ 経営統合

- ・明確な統合ビジョンにより、明確な目的を提示

独創性ある高度な医療機器の開発と安全、安心な製品の供給を通じて、低侵襲医療を支え、QOL向上に貢献する



S Bカワスミ新本社・  
殿町メディカル研究所

### ■ 業務統合

- (全体) ・ステアリングコミティと11の分科会により、業務統合を推進  
・システム統合の計画的な実施
- (営業) ・重複営業拠点 (東京・大阪・福岡) の統合
- (研究) ・低侵襲治療分野の開発を殿町メディカル研究所に集約し、  
保有技術の相互活用
- (管理) ・管理業務のうちグループ共通業務を住友ベークライトに集約



血管内治療関連製品

### ■ 意識統合

- ・ビジョン、ミッション、中長期目標、基本方針の共有
- ・住友ベークライトとの人材交流促進



消化器治療関連製品



# SUMITOMO BAKELITE CO., LTD.

## 【免責事項について】

当社は、本資料の情報がお客様にとって有用なものとなるよう努めておりますが、特定の用途における正確性や妥当性を保証するものではありません。ご利用にあたっては、関連する用途との適合性や安全性を別途ご検証ください。また、本資料に含まれるいかなる事項も、知的財産権等に関する助言や許可を与えるものではありません。

本資料に掲載されている住友ベークライト株式会社の計画、戦略、判断などのうち、過去の事実以外のものは当社の将来の見通しに関する表明であり、当社の経営陣が現在入手可能な情報・仮定および判断に基づいて作成されており、様々なリスクや不確実性を含んでいます。当社の決算情報は、情報提供を目的としたものであり、ここに含まれる将来の見通し・業績見通し等に全面的に依存することはお控えください。また、投資等の最終的な意志決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。なお、投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

## 【著作権について】

本資料の著作権は、特に断りのない限り、当社またその関連会社に帰属します。当社の許可なく、本資料を無断で複製または転用等を行うことを禁止しております。

## 【会社名の表記方法について】

本資料における会社名の表記にあたっては、「株式会社」等の表記を省略している場合があります。